



編集 SEF事務局  
 連絡先 03-3726-3411  
 URL <http://sef-jpn.org>

**巻頭のことば 「魅力あるSEFのための向上策」**

理事 佐立弘臣

上記表題は10月に開催された会員意見交換会で討議されたテーマである。

団塊の世代の人々が60歳となり、定年が始まる年、「2007年問題」と騒がれた。現在、定年は65歳。来年から団塊の世代の定年が始まる。年約100万人、3年で約300万人の方々が定年を迎える。

一方、世界の国々の「定年退職後の活動予定」についての調査によると、日本は他の国々と比較して、定年後の具体的な予定を決めている人が世界で一番少ないと発表されている。特にボランティア活動やクラブ活動など、社会的な活動面での低さが目立つ結果がでている。これはシャイで社会的行動が苦手とする日本人の性格が現れた結果とされている。

「SEF向上策」は「シャイな後輩」に「SEFを紹介する」ことから始めたらどうだろうか。

**11月度理事会より(第104回 11月24日)**

1. 理事会規程一部(11条3項)改訂/審議・承認	6. 10月度意見交換会議事録の確認
2. 環境業務支援事業部と派遣法/報告・確認	HP用の簡略版の作成を決定
3. 宮城県知事への提言の件(コミ研)/経過報告	7. 平成23年10月度収支/報告・承認
4. 事務局業務分担の件/報告・1部修正	8. NPO保険の継続加入/手続完了報告
5. 中間会計監査/報告・了承	9. プロジェクターの購入/完了報告
帳票類保存期間の規程化を進める事に決定	10. 各事業部成行報告/報告・了承

**事業報告 「コミュニケーション研究会」成行報告**

担当役員 小泉理事

11月7日～9日の2泊3日にて第9回合宿(於:蓼科)を実施し、第4次テーマ「日本の農業改革」に関する最終的討議を行いました。その結果、12月12日実施予定の第71回定例研究会にて最終論文の確認を致す段階となり、ほぼ予定通りの行程で終了の見込みです。年明けにはHPにてご披露致すつもりですが、オムニバスの構成は以下の如くです。(一部に変更の可能性あり)

- 第1部:「世界に羽ばたく日本農業」 第2部:「“儲かる農業”の先兵としてのパイロット事業の設立」
  - 第3部:「農業技術のノウハウの蓄積と活用」 第4部:「資本・人的資源の集中と大規模企業化」
  - 第5部:「日本農業の再生/新自由主義経済がもたらした世界農業の影」 第6部:「日本人と農業」(未定)
- 尚、第2部は東日本大震災の復興計画の一助にと、宮城県知事宛の提言窓口に投稿を済ませております。採否の決定には暫く時間が掛かるとは思いますが、外部開示に関しましては、理事会の承認済みである事を申し添えます。

**SEFサロン 第67回報告 / 第68回案内**

担当役員 白崎理事

《第67回報告》 講師:山本鎮男氏 演題:「東日本大震災の教訓と中央日本大地震の備え」(11月24日実施)  
 元京都工芸繊維大学教授の山本鎮男氏から、福島原発事故は官主導による民構築の「安全神話」のもと、300年に1度は20mを超す津波が予想されていたが設計に採用されていなかったこと、電源喪失は懸念されていたにも拘らず対策がとられていなかった事実があり、原因を明らかにする必要があることなど貴重な教訓を数々拝聴した。中央日本大地震の備えでは、超高層建築物に対して大きな長周期地震動が起こることも考えられるので、制震技術の実用化を計り災害を防止することが急務であるとの内容でした。ご講演後も最新の話題でありの熱心な質疑が続きました。

《第68回案内》 日時:2012年1月25日(水)18時  
 場所:青学会館内・レストラン「フィリア」  
 講師:神田秀一氏 (皇室ジャーナリスト、元テレビ朝日記者、キャスター)  
 演題:「皇室あれこれ」

**11月度会員動向**

会員入退会ナシ	11月末現在の会員数	正会員 29名	準会員 33名
		賛助会員 2社	